

知識のワクチン（インフルエンザ編②）

表1の続き

- ④ 増しの倍の量が必要になります（つまり、今の備蓄量では不足します）。
- ⑤ 症状が重く、家族も感染するので病院に行けないことが考えられますし、健康な家族の付添いで病院に行っても、その家族が院内感染する可能性が高まります。しかし、タミフルは感染から48時間以内に服用しないと効果がありません。多くの救急隊員も感染して動けなくなるため、自力で何とかしないとダメです。
- ⑥ 蔓延した場合、電気・水道・ガス等のライフラインや物流が止まることも考えられます。
- ⑦ 3.11の時にも経験しましたが、それ以上にコンビニやスーパーから食料・日用品が消えます。下手すると、海外のように暴動が起きます。
- ⑧ 警察官の多くも感染して対応が出来ないため、どさくさに紛れた殺人・強姦・強盗などの凶悪犯罪は防げません。また、それを後から裁くことも出来なくなります。
- ⑨ 亡くなくても、火葬場が対応出来ないため、公園等にそのまま埋葬する実施計画があります。

さて、⑦に記載した実施計画についてですが、厚生労働省が「新型インフルエンザ対策行動計画（平成21年2月17日 最終決定）」というものを公開しています。関係省庁対策会議で決定した内容です。このガイドラインに基づき、全国の市町村でも独自の行動計画を策定していますので、お住まいの地域の行動計画をホームページ等で、一度はご覧になって下さい。この政府が決定したガイドラインには、具体的な記載まではありませんが、パンデミックが起きて大勢の死者が出た場合、遺体に十分な消毒を行った上で、近隣の公共用地等を臨時の公営墓地として当該墓地への一時的な埋葬を認めています。本来、「墓地、埋葬等に関する法律（昭和23年制定）」では、死亡又は死産後24時間を経過した後でなければ、埋葬又は火葬することを禁じています。しかし、新型インフルエンザによって死亡した者については、特例が認められ、24時間以内の埋火葬が認められています。十分な検視も行えません。恐らく皆さんは初耳でしょう。それが、上記⑥の凶悪犯罪を避けなくなる理由でもあります。感染から逃れ、犯罪に巻き込まれないためにも、少なくとも2～3週間は、籠城出来る生活物資の備蓄と体制（トイレ等）を整備しておく必要があります。また、⑦の可能性についても知っておいて下さい。ここでは、東京23区に住む人の例を挙げます。東京23区内には、9つの火葬場が存在します。瑞江斎場の20炉が最大で、他は8～15炉の規模となっています。火葬処理能力は、通常1日1炉あたり、2～3体ですが、技術的には4体以上も可能とされています。仮に、頑張って1日1炉あたり5体を火葬処理したとして、都内23区で合計103炉ありますから、1日に515体の処理が出来る計算になります。しかし、新型インフルエンザによるパンデミックが起きた際には、厚生労働省の予測では、国民の25%（東京都発表の試算では都民の30%）が感染し、0.5%～2.0%（何故か低病原性の前提）の死者が出ると試算されていますので、この厚生労働省の数値を当てはめると、23区内^{*1}だけでも約4.7～18.8万人の死者が出るようになります。この試算は、かなり低く見積もられていますが、都内でこれだけの規模の死者が短期間で出た場合、到底火葬場で処理することは物理的に困難になりますし、公衆衛生上、感染拡大を防ぐ意味でも早急に埋葬処理をしなくてはいけません。そこで候補になるのが、代々木公園や砧公園といった都立の公園です。スペイン風邪の際には、米国・フィラデルフィアなどでは実際に行われたようですが、公園に死者が山のように積み、埋葬作業を淡々と行っていくという、おぞましいことを都内でも行わなければならないようになります。ただ問題は、そんな感染拡大の最中に、誰がその作業を行うかです。作業を行う人達は、誰も感染せずに元気であるのか？という単純な疑問が生じます。いろいろ想像すると恐ろしくなりますが、最悪のシナリオというものも想定しておかなければなりません。新型インフルエンザの1回の流行期間は2～3ヶ月、それが第2波、第3波と複数回訪れます。企業においてはBCP（事業継続計画）、個人については、感染を防ぐ手立て、あるいは感染しても生き延びる方法を考えて行動に移して下さい。パンデミック対策は、同じく発生が予想される大地震対策にも繋がります。是非、家族単位で話し合ひましょう。家族の一人でも感染してしまえば、ほぼ間違いなく家族全員感染します。新規のウイルスに誰も免疫を持っていないのですから当然です。全員がほぼ同時に感染してしまうと、誰も看病が出来なくなり、最悪のケースに至る可能性が高くなります。そうならないためにも、今から「知識のワクチン」を身につけて下さい。もっと続きを詳しく知りたい方はwebで！ 今から9年前に制作したものです。➡

セキュリティ産業新聞連載 ダigest版（10分） フルバージョン（100分）

*1 H29年1月現在の23区民の人口、9,385,465人 *2 当時は、YouTubeの最長アップロード時間が10分だったため、フルバージョンは、別のサーバーにアップしていたためアクセス数が異なります。

T O M O K O ' S R E C O M M E N D

引き続き、歌舞伎鑑賞にハマっております。1月は歌舞伎公演も多く、お正月らしい華やかでダイナミックな演目も多いので見応えがあります。国立劇場の初芝居は、尾上菊五郎さん率いる菊五郎劇団が、現在あまり上演されない珍しい演目を、装い新たに上演する復活狂言が定番で、今年は江戸から明治にかけて庶民の間で大流行した長編小説「しらぬい譚」の歌舞伎版。客席を斜めに横切る宙乗りやピコ太郎登場！?など、毎年観客を飽きさせない演出が見所です。菊之助さんは宙吊りになっていても美しかったなあ。もうひとつ新春浅草歌舞伎は、毎年お正月恒例の若手花形役者による公演。20～30代の役者さん達が古典の大役に挑みます。浅草の町全体で応援しているので、会場は非常にアットホームな空間ですが、目の肥えているお客様の前で、古典歌舞伎を同世代の役者さんが一生懸命演じているのを観ると、込み上げてくるものがありますね。私が観劇した日は、5年ぶりに復活した着物で歌舞伎の日。着物を身にまとうだけで、より非日常空間を楽しめました。歌舞伎座に比べて一等席も半分のお値段なので、歌舞伎を初めてご覧になる方にかなりオススメです◎



ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
発行：株式会社エーディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4

www.adproject.co.jp

adproject 公式 facebook を check
adproject がお届けするエンターテインメント情報を随時UP!!

皆様の いいね！をお待ちしております。
facebook adproject 検索
もしくは、https://www.facebook.com/adproject.japan

2017 vol.057 2

Legend



心機一転
ゼネラルプロデューサー 楳垣 俊幸

皆様、早いもので、もう暦は2月。私は年齢の所為か、これまでに経験したことのない程の、辛い風邪の症状になりました。なかなか全快に至りません。そこで、今回は私の代わりに、今、流行のピークを迎えているインフルエンザに関する話題について、詳しく書いてもらいます。講師は、薬学博士で弊社の経営企画室の阪本氏にお願い致します。では、阪本さん、宜しくお願い致します。

それでは、ご指名に与りましたので、表4ライターが、先月に引き続き、インフルエンザの話題について、他では得られない情報をお伝え致します。以下の内容は、季節性のインフルエンザではなく、新型インフルエンザの話になります。

日本の報道機関では、あまりこの手の話題は取り上げられませんが、今年の鳥インフルエンザ発生状況は、非常に異常な状態になっています。WHO（世界保健機関）でも、パンデミックへの発展に強い警戒感を抱いています。今年ほど、多種類のインフルエンザウイルスが、世界各地で鳥や人に感染拡大した歴史が過去にないからです。因みに、インフルエンザは、ヒト、ブタ、ウマ、ミンク、アザラシ、クジャなどの哺乳類から、ニワトリ、七面鳥、カモ、アヒル、ガチョウなどの鳥類に至るまで非常に広範囲に宿主域を拡げた、地球最大の「人獣共通感染症」ですが、今のところ、犬や猫からヒトに感染したという報告はありません。

WHOは、先月（1月23日）、スイスのジュネーブで執理事務会を開き、全ての加盟国は野生の鳥や家禽（かきん）の鳥インフルエンザウイルスへの感染を注意深く観察し、人間に感染した場合は、迅速に報告するよう各国に呼び掛けました。今の状況は、パンデミックの始まりを告げるシグナルである可能性がある。昨年11月以来、約40カ国で野生の鳥や家禽への高病原性鳥インフルエンザウイルスの感染が確認され、日本をはじめ、各国で大規模な殺処分が行われています。中国では人へも感染し、死者も報告されています。急速な感染拡大に加え、アジアと欧州では感染が拡大しているウイルスの型が違うことから、「WHOは非常に警戒」していると、チャン事務局長は語っています。中国は昨年11月以降、非常に多くの鳥インフルエンザ（H7N9型）感染者を報告しており、その数は少なくとも225例を超えています。致死率に関しては、未だ感染者が入院し続け



EDGE Positive mind

adtain

adproject-entertain newspaper

モデル：Veronika / Height:164cm B:80 W:57 H:87
事務所：ARTRICK ENTERTAINMENT（アートリック）http://artrick.com

adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

ていることから明確ではありませんが、最初にウイルスが人に感染し始めた2013年以来、中国では1,000例以上の感染者が報告され、その致死率は39%に達しています。持続的な人への感染拡大は、これまでに観察されていませんが、限定的な人から人への感染は否定できないと考えられています。現在、このような異常事態になっていることは、日本のマスコミでは取り上げていないため、殆どの国民は危機感を抱いていません。但し、関係機関では、かなり警戒感を高めています。東京都感染症情報センターでは、中国における鳥インフルエンザ（H7N9型）の発生状況をほぼ毎日更新しています。

2005年に高病原性インフルエンザウイルス（H5N1型）によるパンデミックが警戒された時、日本国内の抗インフルエンザウイルス薬（タミフル等）の備蓄量は、国民の23%に相当する量しかありませんでした。その後、2013年6月の関係省庁対策会議の決定により、国民の45%（5,700万人）に相当する量を目標にして備蓄することになりました。本当に45%で十分なのか、実際にパンデミックが起きてみないとわかりませんが、スイスでは、全国民分のタミフルを備蓄していることを考えると、日本のリスク管理は甘いように感じま

す。国内で、毎年流行している季節性のインフルエンザが直接的な原因による年間死者数は、約1,000人です。インフルエンザがきっかけで、肺炎、脳炎、腎不全などを発症して亡くなった方を含めると年間約1万人になります。今から99年前に発生したスペイン風邪（スペイン・インフルエンザ）を含め、それ以降、パンデミックが起きたインフルエンザは、全て致死率の低い低病原性のインフルエンザです。それでも、先月号に記載した規模で死者が出ています。もし、懸念されている高病原性インフルエンザウイルス（新型インフルエンザウイルス）によるパンデミックが発生した場合、その人数は数十倍～数百倍に達します。そうなった時には、予防接種も役に立ちません。役に立つのは、「知識のワクチン」だけです。個々に詳しく記載するスペースがありませんが、高病原性の新型インフルエンザによってパンデミックが起きた時には、以下のような信じがたい事態になります（想定内の内容です）。

- ① 特に若い世代（10代～20代）の人達の症状が重篤化して、死亡率が高くなります（サイトカイン・ストーム）。
- ② タミフルの投与量は、通常のインフルエンザ

→表4へ続く



Project 1.

ASSOCIATE PRODUCER : 黒川 和紀

■Title : 時代は変われど定番は変わらないわけ。

今回は、赤城乳業株式会社営業本部 マーケティング部の萩原史雄部長の記事が面白かったので、一部抜粋で取り上げます。誰もが食べたことのある夏の定番「ガリガリ君」。定番であり続けるために必要なのは「売れ続けること。」そんな命題を課されるメーカーさんの企業努力と、変わらずに大切にしている企業理念には共感とともに危機感を感じます。

(下記記事はITmedia ビジネスオンライン 2/1 (水) 6:40 配信より抜粋)

■“遊び心”がチャレンジ精神を生む

萩原さんはマーケティング部に配属された2004年、最初の企画で大失敗を経験している。「チューベット」のようにガリガリ君を液状に近づけて柔らかくした新商品「シャリシャリ君」を企画したものの、会社から罰金を徴収されるほどの大失敗に終わったようだ。そうした経験を積みながら、今日まで変えていながらある。「遊び心」を失わない姿勢だ。その思いは会社全体を巻き込み、コーポレート・スローガンも「あそびましょ。AKAGI」に変わった(2006年から)。「もともと遊び心がある会社だと思っていましたし、それを強みに勝負してきました。『失敗しても、どこかで回収してキャラにすればいい』『失敗を次に生かそう』という空気があるからこそ、他がやらないことに思い切ってチャレンジできたのです」

■社内の反対を押し切った「コンボタ味」

これまでは当たり障りのない“鉄板フレーバー”で勝負していたが、あるパイヤーから「売れる商品ではあるが、赤城乳業らしい遊び心がない。守りに入らず、新しいことにチャレンジしてほしい」と言われたのをきっかけに「今までにない商品で勝負しよう」と思い立ったという。「コンボタージュといえばスナック菓子でよく使われているフレーバー。多くの人にとって慣しみのある味です。だから、アイスでもイけるはずだろうと(笑)。そして、本来は温度の高いコンボタージュを氷菓子として出すというこのギャップがウケるのではないかと考えました」しかし、社内では「ふざけているのか」「アイスには合わない」などの反対意見の方が圧倒的に多く、簡単には決まらなかった。それでも必死に訴え続けた結果、最終的には“新たな挑戦”として受け入れられて、社長のゴーサインが出たという。結果は見事に大成功。ネット上で話題になり、販売から数日で品薄状態となった。各メディアに大きく取り上げられたことでリッチシリーズの知名度も高まり、その翌年(2013年)に販売した「シチュー味」も前作に匹敵する大ヒットに。ガリガリ君の販売本数を飛躍的に伸ばしていった。

※赤城乳業株式会社「会社案内」



前山 椋

■Event : 異世界への時間

■Date : 1月

こんにちは。前山です。最近、いろんな娯楽がありますが、少しサブカルチャーに踏み込んでみようかなと見始めたのがアニメ。見てみると意外と面白い！社会現象になる理由が分かる気がしました。いろんなアニメがありますが、私が好きなのはSF系。手軽に異世界へ旅立てるのがいいですね。せっかくですので、最近見た中のこれは面白い！と思ったアニメを紹介します！！(笑)

シュタインズ・ゲート

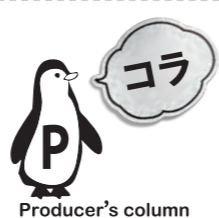
鳥肌5回保証！！

アニメの世界へ私を引き込んだキッカケの作品。一言で「ヤバイです」

ひよんな事から意識のタイムトラベルが出来る様になるのですが、些細な過去を変える事により未来で起こる大事件。

中2病全開の主人公が世界戦を旅して、変わっていく姿もまた面白い。様々な伏線が突然出てきて、めちゃくちゃ鳥肌が立ちました(笑)。

あまり多く語るのもあれなので・・・見て下さい！絶対、後悔はしないと思いますよ。



What News (CoffeeConcert と NewFactory)

1月27日・2月4日

EXECUTIVE PRODUCER : 平田 元春

「Caffera Espresso」

1月27日にUCCの「カフェラ大丸神戸店」でカフェコンサートが開催されました。演奏は、「さんちか店」でカフェコンサートを行っているフルーティストの安藤史子さんを中心にヴァイオリン菊本恭子さん・ピアノの平山朋子さんです。お店のクラシカルな雰囲気とクラシック音楽がグー。



大盛況です



冬でも外人人気



ラテアート



新しいUCC群馬工場



大人気の餅つき大会



大変盛り上がったビンゴ大会

オモシロイをやる仕事

PRESIDENT : 檜垣 俊吾



20代若僧の頃、「楽しい仕事なんてない！仕事は全部辛いものだ！」と自分に言い聞かせ、誰かがやりたくないことを、代わりにすることで成り立って対価をもらっているという気持ちで、徹夜の続く仕事をしていた。しかし今分かることは、その大変だった頃を必死で続けてきたから、今はオモシロイ事を思いついたら、何でも形に出来るということ。そしてそれがプロデューサーなんだなあ。プロデューサーは、制作全体の統括を行い、作品などでスタッフの人事や予算の調達や管理を行い、その制作物の商業的な責任も担う。つまり商業的に成功すれば周囲から注目され、次の仕事の予算調達などもしやすくなるが、失敗すれば評判は落ちて仕事が減るなどの可能性も出てくる。お金の動きで考えや行動が左右されるため、自らが積極的に動いて、宣伝活動を行うこともプロデューサーの使命。だから誰でもボンと転職して簡単になれる職業ではない。下積み時代と試行錯誤してきた経験が必要であり、それらを一緒に乗り越えてくるスタッフチームを作り、持っていることも条件。そして我々は、そのプロデューサー集団であり、「オモシロイをやる仕事」なのである。



※写真は3月公開の未発表案件のため、詳しいことはお伝え出来ませんが、オモシロイをご期待ください！

初登場！！

土井 晃範 (第2プロジェクト)

皆様、初めまして！1月7日に入社致しました、土井晃範(ドイアキノリ)です。本日はこの場をお借りして、自己紹介をさせて頂きたいと思っております。私は瀬祭で一躍有名になった山口県出身です。といいながら、自分はシャンパン派(笑)。高校卒業まではバリバリの野球人間でした。テレビ画面の中だけで目にしていた大都会に憧れて、大学で上京をし、在学中に役者の仕事を始めました。様々な仕事をさせて頂き、2012年には短編映画『もはやないもの』で主演を務めました。これから生きていくイベント業界と似ていますが、不特定多数の人を喜ばすために、同じ想いを持って一つの作品を作り上げていく現場に魅了されました。これからも「人の為になりたい」という想いを大切に、また新しい形で表現出来るように頑張りたいと思います！！イベント業界での営業職は初めてではありますが、これから出会う全ての人と新しい人生を共に歩んでいけるように、「明るく・元気に・前向きに」日々精進して参ります。こんな平凡な私ですが、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。一日でも早く、皆様とお会いできる日を心から楽しみにしています。

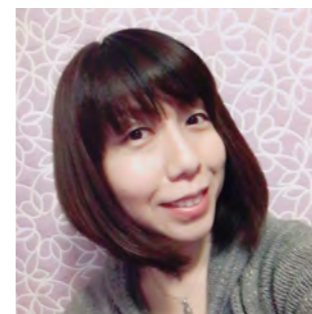
Project 2.

ASSOCIATE PRODUCER : 広川 映里夏

■Event : CYRIL Dinner Show “NO MAGIC, NO LIFE”

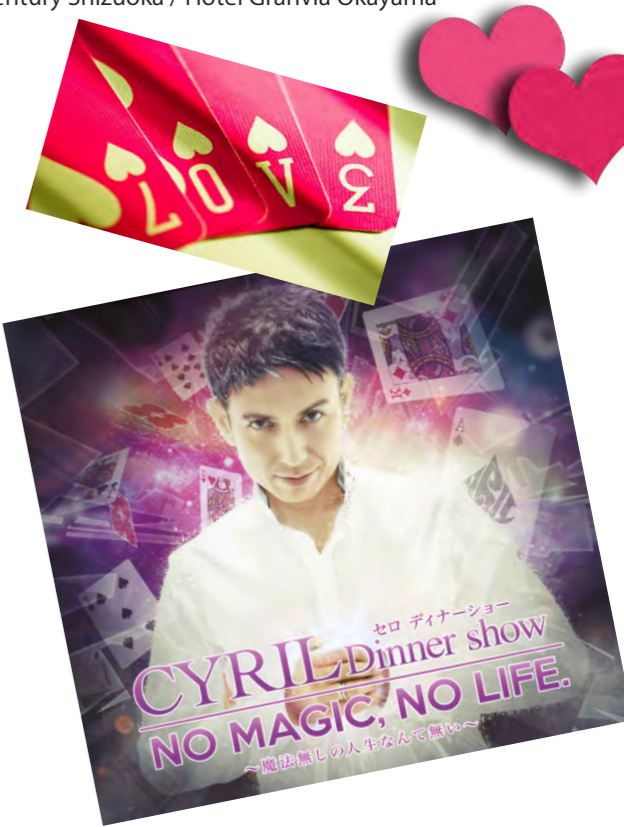
■Date : Shizuoka: January 29 / Okayama: February 27, 2017

■Place : Hotel Century Shizuoka / Hotel Granvia Okayama



Happy February!! And Happy Valentine's Day!! In Japan, it's considered to be a special day where women confess their love to the **man of her dreams**, but in other countries, especially in the States, it also includes men showing their love or appreciation to women, or to friends or family. It's a day of LOVE, expressing gratitude, endearment, or fondness to another. Speaking of a very **warm and fuzzy** feeling that everyone feels on Valentine's Day, Cyril is out to give everyone a loving heart with his special dinner show, "NO MAGIC, NO LIFE", at selected hotel venues. He just left a huge crowd in awe at Hotel Century Shizuoka, and is preparing for another night of **oohs and aahs** at Hotel Granvia Okayama on the 27th of this month. Cyril's popularity not only lies in his exciting magic to entertain you, but his caring personality which you will be able to feel in his kind and **witty** interaction with the audience. In the future, we hope to see him near or in Tokyo. Dinner shows are extremely intimate, so you can really feel Cyril's LOVE. If you happen to be in Okayama at this time, be sure to check it out!

- *man of her (your) dreams: (あなたの、彼女の) 運命の人
- *warm and fuzzy: 心温まる
- *oohs and aahs: 「オー！」や「ワ～」などの驚きの声、喜びの声、歓声
- *witty: 機知に富んだ、気のきいた、しゃれのうまい



♥セロは現在ワールドツアーとは別に、ディナーショー、企業パーティーやイベントでの出演など、幅広く活動しています。セロ・マジックを体験された方は是非、広川までお声掛け下さい！♥

Project 4.

PRODUCER : 岩下 信而

■Event : ひと月遅れの2016年音楽エンタメ振り返り

■Date : 2017年2月

■Place : 寺田倉庫から、TOHOシネマズあたり



まずは昨年の国内の話題からっ！(ひと月遅れには触れず、キッパリ) **玉置浩二の底力**。音楽以外でのお騒がせも多い人ですが、かの山下達郎が「この人にはかなわない」と明言した程の声と表現力の持ち主。この業界に居るからには一度は手がけてみたい才人のひとり。年に数回のNHK「玉置浩二ショー」は、観応のある上質なヴァラエティで、「ニュース女子」とともに数少ないテレビの楽しみです。そして**実力者たちの華麗なる復活**。宇多田ヒカルとの5年半ぶりの「ファントム」は、かつてのyummingや大瀧詠一さん達の充実したアルバムを聴いた後のような満足感を味わえる1枚。ストレートで骨太ながらも、民生や斉藤に致命的に欠けている艶やかさを兼ね備えたイエモンのサウンドを12年ぶりに楽しみましょう。「準備 ALRIGHT!」。そしてハイトーンは健在！男前の歌姫、大黒摩季も6年ぶりにツアー開始。弊社は彼女の2017年初回のライブを制作しました。上昇気流の企業のイベントには最適です。お問い合わせ、お待ちしております!! **海外では物故者が多かった2016年**。今は中年のかつてのロックンロール少年たちが涙したのは、イーグルスのグレン・フライ。ハスキーじゃない、「テイク・イット・イージー」の方。一方元ロック少女で現・熟女たちは、前衛ロックの貴公子、キース・エマーソンとグレッグ・レイクに号泣。その熟女たちに加え、2丁目方面からもすすり泣きが起こったのは、ジョージ・マイケル。わかりやすいMJと比較されがちだけど、もっと評価されていいプリンスまでも…。しかし一番衝撃的だったのはデヴィッド・ボウイ。大好きな「スターマン」をはじめ、ベルリンの壁の傍らで落ち合う恋人たちを歌った「ヒーローズ」、「火星の生活」、「レディ・スターダスト」、「世界を売った男」等ロマンティックで壮大なテーマの名曲を残してくれた。そんなボウイの回顧展は、東京育ちの中年には感慨深い寺田倉庫にて4月9日まで。幅広い世代に、稀代のトリックスター、ルネサンスの絶好の機会です！そして来る2月24日はエンタメ日和。お待ちかねの「ラ・ラ・ランド」の公開と村上春樹の7年ぶりの長編「騎士団長殺し」の発売が重なります。エンタテイメントを極めるには時間が必要。朝から全開！夕方にはパソコンを閉じて、ダウンタウンへ繰り出そう！では次号、Ciao!



レポートは経理・根本朋子に任せた。Coming Soon!



エマ・ストーンの笑顔にまた会える!!



キラコテンツ「ら・ら・ら」を引っ提げ全国ツアー